



知つておきたい褥瘡の基礎知識②

得るので注意が必要です。
ただし、食事摂取率が100%であつても、食事の形態や消化器系疾患の有無などにより、必要栄養量を充足していない場合もあります。

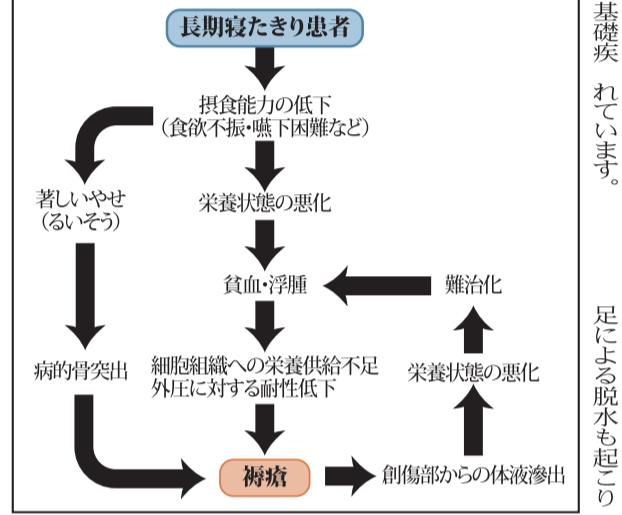
全体的な要因	基礎疾患 栄養状態の低下 やせ 関節拘縮・変形・骨突出 加齢 薬剤など
局所的な要因	加齢に伴う皮膚変化 摩擦・ずれ 発汗・排泄物による湿潤など

【図1】褥瘡のリスク因子

褥瘡発生の危険因子として特に注意すべき疾患	●うつ血性心不全 ●骨盤骨折 ●脊髄損傷 ●糖尿病 ●脳血管疾患 ●慢性閉塞性肺疾患
褥瘡発生の危険因子として考慮すべき疾患	●悪性腫瘍 ●アルツハイマー病 ●関節リュウマチ ●骨粗鬆症 ●深部静脈血栓症 ●パーキンソン病 ●末梢血管疾患 ●尿路感染症

褥瘡ガイドブック 第2版 褥瘡予防・管理ガイドライン(第4版)準拠
一般社団法人 日本褥瘡学会(著)

【図2】褥瘡の発生と関連のある疾患



(梶川病院(広島市西区天満町)山本貴広
理学療法士)

前回に引き続き、今回も褥瘡(じょくそう)についてのお話です。今日は、褥瘡についての知識を少し深めていきましょう。

■褥瘡のリスク要因

前回、「栄養状態が悪くなっている方」などは、褥瘡の発生と進行の危険性がより高まると説明させ

ています。1つは全体的な要因であり、もう1つは局所的な要因です。

■全般的な要因とは

全体的な要因は、【図1】をご参照ください。

基礎疾患とは、元々患っている病気が、別

に基礎疾患、栄養状態の低下、やせ等々が挙げられています。

【図2】に具体的な病名として、うつ血性心不全、骨盤骨折、糖尿病などがあげられています。これらは褥瘡発生の危険因子として、特に注意を払うべきとされています。

【図3】に具体的な病名として、うつ血性心不全、骨盤骨折、糖尿病などがあげられています。これらは褥瘡発生の危険因子として、特に注意を払うべきとされています。

前回に引き続き、今回も褥瘡(じょくそう)についてのお話です。今日は、褥瘡についての知識を少し深めていきましょう。

前回に引き続き、今回も褥瘡(じょくそう)についてのお話です。今日は、褥瘡についての知識を少し深めていきましょう。